

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	中心市街地活性化事業				担当部	地域活性化営業部				
	会計区分	一般会計				担当課	シティプロモーション課				
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	にぎわい創出係			
	基本施策・展開方向	5	産業・交流	18	シティプロモーション	4	中心市街地を訪れる人の数を増やします				
	予算区分	款	7	項	1	目	4	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的	何・誰を対象に	中心市街地								
		どのような状態にするのか	中心市街地が魅力あるものとなり、にぎわいがあり、活性化している。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧駅前広場等電飾委託事業 こまきまきちごろう光話をテーマに、小牧駅前広場等にイルミネーションを設置し、中心市街地の魅力と賑わいの創出を図った。 11月11日～1月13日 電球 約13万5千球 委託費 11,988千円</li> <li>・中心市街地にぎわい創出事業費補助事業 中心市街地の魅力とにぎわいの創出を目指して結成した小牧にぎわい隊の行方にぎわい創出事業への補助。 補助金 9,252,610円</li> </ul> <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧駅前広場等電飾委託 11,988千円</li> <li>・中心市街地にぎわい創出事業 9,253千円</li> <li>・その他の経費 99千円</li> </ul> <p>◆29年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧駅前広場等電飾委託 10,000千円</li> <li>・中心市街地にぎわい創出事業 9,800千円</li> <li>・中心市街地空き店舗対策事業費補助金 1,200千円</li> <li>・その他の経費 226千円</li> </ul>									
	受益者負担	無									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	23,320	23,405	21,340	21,226	
		正職員	従事者数	人	0.70	0.70	0.70	0.70
			人件費	千円	3,939	3,939	3,939	3,939
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	27,259	27,344	25,279	25,165		
対前年比	%		100.3	92.4	99.5			
財源	一般財源	千円	27,259	27,344	25,279	25,165		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	小牧にぎわい隊にぎわい創出事業の事業件数	件	目標	7	5	5
実績				6	5	9	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	中心市街地に魅力を感じる市民の割合	%	目標	-	-	-	-
実績			17.9	17.0	16.5		
績	にぎわい隊の事業の来場者数	人	目標	-	-	-	-
			実績	22,178	12,524	19,448	
	イルミネーションの満足度	%	目標	-	-	-	-
			実績	-	-	-	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	中心市街地の魅力とにぎわい創出に向け、小牧にぎわい隊の活動について事業費補助を行うとともに運営をサポートした。にぎわい隊が主催する事業への来場者数は、前年度より増加した。また、イルミネーションについても、小牧市の逸話として有名な吉五郎をテーマに、ストーリー性をもった電飾を実施した。通り全体を電飾し、統一感が増し、地元の店主、来場者からも好評であった。					
		事業実施における課題	中心市街地の活性化には、そこに住む人、商店をしている人が主体的に関わる必要があり、いかにその人達を巻き込んでいくかが課題である。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	小牧にぎわい隊と連携し、来場者数の推移と事業内容の関係を考査し、今後の取り組み方法の検討をすすめる。イルミネーションについては、テーマは変更するが、ストーリー性については継続して行っており、魅力を向上させる。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	235	千円	予算区分	13	節	節
	判定理由・削減内容	イルミネーションについては、選択と集中により、実施場所を削減し、経費を削減するが、全体の質を上げる事により、効果が落ちないようにし、費用を235千円減少させる。 空き店舗対策補助、地元商店街による結成された「にぎわい隊」への支援は、一定の効果をあげており、引き続き同規模の支援が必要であるとする。						
	30年度以降の実施内容	いろいろなもの、行事と連携し、相乗効果により来客、魅力を高めていく。 また、中心市街地の空き店舗対策補助を今後も継続し、中心市街地の活性化に努める。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。